

！今月の注目情報

栃木市への移住 を考えている方にオススメ!

住宅ローン
【フラット35】金利がお得になります

市では、住宅金融支援機構と連携して、栃木市に移住される方などを対象に、長期固定金利住宅ローン「【フラット35】子育て支援型・地域活性化型」の借入金利を引き下げる制度を設けています。

対象 ・市の「まちなか定住促進住宅新築等補助金」の「IJU補助金」に該当する方（IJUターンで市に移住し、市に5年以上の定住を誓約するなど、複数の条件があります）
・市の「空き家バンクリフォーム補助金」に該当する方

内容 【フラット35】の借入金利を当初5年間、年0.25%引き下げます。また、【フラット35】Sと併用することにより、最大で0.50%引き下げることが可能です。なお、引下げ率は変動しますのでご注意ください。

申請先 【フラット35】の取扱金融機関にて。制度や申請方法等の詳細は問合せ先へ。

申請期間 平成30年3月31日まで

問合せ先 住宅課 ☎(21)2453
住宅金融支援機構お客さまコールセンター ☎0120-0860-35

都内に電車通勤する皆さんを応援!
通勤者特急券購入費補助金

東武鉄道を利用して東京都内に通勤する方に、通勤時の特急券購入費用の一部を補助します。

対象 市内にお住まいで、東武鉄道を利用して東京都内へ通勤している方（特急料金に対して通勤手当が支給されている方、世帯に市税の滞納がある方、対象者や世帯員が暴力団員の場合を除きます）

補助対象 通勤のために利用した東武鉄道の特急券の購入費用

補助金額 1月につき最大1万円

補助期間 補助金の申請をした日からその年度の末日まで

申請期間 10月1日～平成31年3月31日

※制度や申請方法等の詳細は問合せ先へ。

問合せ先 住宅課 ☎(21)2453



とちぎ協働まつり2017
NEXT! NEXT!

2017.10.22 SUN
場所：栃木市総合運動公園

とちぎ協働まつり2017 ~みんなでつくる 明るい豊かなまちづくり~

今年のテーマは“NEXT!～あなたがつなぐ未来へ～”。
今年のカラーはフレッシュ・レモンイエロー。
黄色いグッズを身に付けて、遊びに来てください。

日時 10月22日(日) 10時～15時30分
場所 栃木市総合運動公園(川原田町)

イベントエリア紹介

- ・協育…「とちぎふるさと絵手紙」の入賞作品を体育館にて展示。「親子チャレンジランキング大会」、認知症予防教室
- ・ステージ…若い力でステージイベントの企画・運営！NEXT GENERATION!
- ・くらら…各市民活動団体による展示・体験などの活動PR
- ・子育て…クラフト、ペーゴマ、プラレール、サロンのおもちゃで絵本の読み聞かせ、ハロウィンパレードで

- 次世代へつなげよう!
- ・キッズワーク…協力店でお仕事体験（警察・大工・看護体験等 予約優先120人程度）
- ・物販…飲食物・物品販売・企業PR等
- ・スマイルハーツ…放課後カフェ、すっごい車いすの体験、点字体験、楽しい体操など、楽しい暮らしにつながるブース
- ・その他…熱気球体験、苗木配布、白バイ展示、はしご車搭乗体験、献血車

※まつり前日の準備、当日のボランティアとして参加して下さる方を募集しています。詳細は問合せ先へ

問合せ先 とちぎ協働まつり2017実行委員会事務局(とちぎ市民活動推進センターくらら内(水曜日休))/ ☎(20)7131

市長通信



栃木市農業ビジョン

市民の皆さん、こんにちは。

実りの秋となりました。皆さんは、栃木市で生産される農産物という、何を思い浮かべますでしょうか？

豊富な水資源や冬場でも日照時間が長いという風土や気候の特徴を生かして栽培される米や、いちご、ぶどう、梨などの果物、トマトやにら、宮ねぎなどの野菜、とちぎ和牛などの畜産物、あるいは、平成27年度に産出額が全国1位に輝いた二条大麦(ビール麦)を挙げる方もいることでしょう。豊かな自然環境と、首都圏に近いという地理的優位性を持つ本市は、県内有数の農業都市です。

今、国内では、グローバル化に伴う大きな農業変革、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地

の増大など、農業を取り巻く状況がますます厳しさを増しています。このような状況を乗り越えるため、本市では、時代の潮流に的確に対応しながら、本市の農業が今後とも成長産業として発展していけるよう、今後10年間の本市の農業のあるべき姿や方向性をめざして、今年3月に「栃木市農業ビジョン」を策定しました。今回は、この栃木市農業ビジョンについてお話をしたいと思います。

「栃木市農業ビジョン」は、現在の市の農業が抱える7つの大きな課題に対応して、アクションプラン「とちぎアグリプロジェクト7」を定め、「栃木市型農業」を目指すものです。

<「生産振興戦略」としての4つのプロジェクト>

- ①意欲ある担い手農家の確保・育成
- ②次代を担う新規就農者の確保
- ③競争力と継続性のある強い経営体の育成
- ④農業公社の積極的な活用

<「販売戦略」として3つのプロジェクト>

- ①儲かる農業への転換
- ②農畜産物の戦略的PRの促進
- ③農業に生きがいを持ち、楽しく頑張る小規模農家への後押し

各プロジェクトでは、10年後の2026年度に向けた具体的な数値目標を定め、その達成のため、短期(3年以内)、中期(5年以内)、長期(10年以内)に分け、各種の施策を展開してまいります。

本ビジョンの策定にあたっては、多様な意見を取り入れるため、市内の高校生、新規就農者、女性農業者、消費者、農業士、認定農業者などで構成された「栃木市農業振興推進会議」を中心に議論を重ねてきました。また、本ビジョンのキャッチフレーズである「『農業』で 栃木を明るく ステキな街へ」は、栃木農業高校の生徒にご提案いただいたものです。

今後は、この栃木市農業ビジョンを、本市の農業分野の最上位計画と位置づけ、農業者の皆さんをはじめ、関係機関や各種団体の皆さん、そして市民の皆さんとともに、市の農業の発展に取り組んでまいりますので、ぜひ、皆さんで手を取りあって栃木市の農業を盛り上げてまいります!

栃木市長 鈴木俊美

